

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年2月17日（水）
13時28分～15時27分
第4委員会室

- 【出席者】 三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
- 【事務局】 近重係長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 61について…………… 資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料2
 - (1) 第3号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 はまだ市民一日議会について…………… 資料3
 - (1) 預かり事項の確認
 - (2) その他

- 4 地域協議会との意見交換会について…………… 資料4
 - (1) 意見確認
 - (2) その他

- 5 その他
 - (1) 議会報告会について

【議事の経過】

[13時 28分 開議]

三浦委員長 | ただいまから議会広報広聴委員会を始める。
では議題に沿って進めていく。

1. はまだ議会だよりVol. 61について

- (1) ページレイアウト
- (2) 掲載記事及び原稿提出締切
- (3) その他

三浦委員長 | 小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

近重係長 | 補足だが、先ほどの議会運営委員会に出ておられない方がおられたのでほかの委員会のことを言うのだが、3月9日は13時から議員定数等議会改革特別委員会が入っているので、所属委員の方はそれまでに対応できるようお願いします。3月1日は個人一般質問の後に議会運営委員会が入っている。

三浦委員長 | まずページレイアウトからご意見をいただきたい。新しい企画など盛りだくさんなので、前年に比べて予算のスペースが小さいなど紙面の変更があるが、案なので皆の意見を聞いて整えていきたい。よろしくお願いします。

笹田委員 | 会派代表質問と一般質問の記事が一つになっている。別にしたほうがわかりやすい気がした。スペースがないのだろうか。

小寺書記 | 11ページが1名だけになっているので、ここに2名分の個人一般質問を入れることができれば、7ページの頭にSDGsについて入れたり、個人一般質問の説明をしたりできるかもしれない。

笹田委員 | 会派の説明を少し増やして埋めたほうが、市民にはわかりやすいかと思う。

あと一般会計の円グラフだが、同じ時期に市の広報にも全く同じものが載っている。それはどうなのかとずっと思っていた。どちらかしか見ない方がおられるかもしれないので丁寧でよいと思うが、同時に出るものは考えたほうがよいかは個人的に思う。

三浦委員長 | 円グラフの表現に工夫があってもよいのではというご意見をいただいたが、例えばそこを何かしら縮めることで、議会としての注目

事業を増やす方法もあるかとは思ふ。皆はどう思うか。円グラフはわかりやすいのだが。

澁谷委員 400億の事業の割には説明するのが四つしかないのだから、何を選ぶかは難しい気がしないでもない。

野藤委員 円グラフを小さくしたら余計に見にくくなる。スペース的に難しいと思いながら聞いた。円グラフはわかりやすいので、私はよいと思う。執行部側からも出るが、この円グラフの中でここに注目しているという、視点が違うので載せてもよいと思う。

三浦委員長 議案の賛否の公開のところは、後ろなどに回せなかったのか。前は注目事業を八つ、今回半減している。ここをもう少し増やして、増やすと議案などの賛否の公開と討論の部分をどこかに回さないといけなくて。それを次ページに回す。

野藤委員 予算があつて紙面が結構タイトになっているので、市民対談を1ページにするとかは。全部載せるのはなかなか厳しい。

三浦委員長 野藤委員から提案があつた。今回予算が一番大事なページだということで、ほかの項目についてページを少なくする、場合によっては休載するという方法について、皆はどのようにお考えか。

野藤委員 私は休載とまでは言っていない。あつたほうがよいと思うが紙面の都合上、今号は減らすということ。

三浦委員長 場合によってはである。

例えば、もし減らすとすれば委員会活動レポートを、予算委員会を一番大きく見せるということで解釈すれば、予算をボリュームアップして委員会活動レポートの半ページをminiに回して対応する。市民対談は恐らく半ページで見せるのは難しいかと思うし、中途半端に載せるのもせつかく取材に行くのにもつたいないと思うので、そこかと個人的には思うが、皆はどうか。

笹田委員 それでよい。

村武副委員長 委員会活動レポートのところの一つ枠があるとおっしゃったが、福祉環境委員会が明日市長のところ要望書を持っていくので、できたらそこを提案させていただきたいと思っていた。ここに載らないのであればminiに載せていただければということであれば、それはそれでよいと思う。やはり予算はしっかり取ったほうがよい。

小川委員 委員会活動レポートはそちらに回したほうがよい。円グラフはあつたほうがよいと思う。同じグラフでも説明の仕方が、広報と議会

だよりとでは違う。どこに注目して見ているかがわかりやすいと思うので、違いを工夫すれば議会なりの表現が出せるのでは。

芦谷委員

議会だよりなので議会目線をしっかり取って。執行部が掲載するものに対して、こちらから指摘や主張があればよい。市民対談は普通の新聞でも広報でも載っている部分で、特に市議会目線で突っ込む部分があるならまた意味があるのだが、市議会の広報だという軸を持ってやったほうがよい。

佐々木委員

去年と違うのは、項目が変わったのか。

三浦委員長

新設した企画や市民対談などが入っているので、圧縮された部分がある。

佐々木委員

主には市民対談か。

三浦委員長

市民対談、議会ニュース、委員会活動レポート、読者アンケートなど。

佐々木委員

その辺が去年と違うということか。

澁谷委員

この読者アンケートはもっとコンパクトにできないか。

川上委員

確かに予算の円グラフも必要かもしれないが、注目事業がきちんと見えるように。賛否の公開などは省いてもよい気がしないでもない。

澁谷委員

委員会活動レポートは要るのではと思う。特に内容があるなら。ないなら無理する必要はないが。読者アンケートは今回コンパクトで次回は大きくなど。今回は3月当初予算があるので、イレギュラーな感じがある。

野藤委員

議会だよりminiの広報を最後に載せているが、これは表紙に持ってきたらどうか。PRするならそのほうがよいように思う。

西川副委員長

予算の事業を増やすことには賛成なのでどうにか紙面をやりくりしないとイケない。

三浦委員長

予算はしっかり伝えたほうがよいという意見が多かったように思う。2、3ページ目は予算の報告に割く方向でページを割りつけし直す。議案の賛否討論については請願が2件出ており、掲載が必要かと思うので、後ろを何とか調整しようか。基本的に項目はあまり減らさない方向で再考するというので、お預かりさせていただいてよろしいか。

(「はい」という声あり)

基本的に担当する部分は変わらないので、掲載記事の担当を決め

たい。小寺書記から先ほど案が示された。上からいきたい。

3月定例会議の表紙は引き続き私が担当し、3月定例会議は副委員長、円グラフは事務局と相談しながら表現方法は再検討として、注目事業の概要と着眼点については前年と同様の8項目を想定して、2人で対応していただく。去年と一緒。見開きは予算のページになる。どなたか。

小川委員 八つ決めてそれを2人がテーマに基づいてやるということか。どれを書くかは終わった後に決めるということか。

三浦委員長 はい。

佐々木委員 予算事業のあったことをやるのか。

三浦委員長 去年と同様である。注目事業を皆で選んで。

佐々木委員 まだなれてないから。

三浦委員長 失礼した。予算委員会を終えて、集中した議論や注目すべき事業を議会視点で選ぶ。

川上委員 私がやろう。

野藤委員 では私と川上委員で。

三浦委員長 ここからは会派代表質問、個人一般質問になって、議会ニュースまるよみ。はまだ市民一日議会の案内はどうなるのか。前回載せたが、この5月に再度7月にやるとチラシを入れるのか。

小寺書記 チラシを挟めるかどうかは今後検討になる。

三浦委員長 臨時会議の鮮度は落ちるか。はまだ市民一日議会のことをしつつくく広報するのは大事な。ではここはこちらが担当しようか。

佐々木委員 この前、連合自治会の会合のときに時間をもらってはまだ市民一日議会についてPRした。

三浦委員長 感謝する。次、市民対談。これはどなたを対象にするかも併せて決めたい。田中輝美さんが候補に挙がったのは、この4月から県立大学の准教授になられ、関係人口について講義を持たれている。ちょうど定住関係人口推進課ができて、一般質問で取り上げる議員も多いということで、関係人口について一緒に考えてみようかということで候補に挙がっている。

西川副委員長 板本さんは浜田商業高校の3年生で、IT何とか部の部長で、4回くらい山陰中央新報の記事に出ている。eスポーツのこととか。去年夏に、ここに帰れなかった人のためのYouTube動画をつくった人。それからフットサル中継をエフエム山陰と一緒にやって

三浦委員長

いる人なので、おもしろいかと思った。

今は高校の魅力化もやっているが、そういった文脈で候補として挙げていただいた。

もう一つは、なかなか神楽の舞ができない状況の中、その指導をされている方や子ども神楽にも注目して、地域の伝統芸能振興みたいな文脈から取り上げてほしいのではと思います、候補を出してみた。

ほかに候補があればもちろん出していただいてもよいし、併せてこの対談の取材を担当するという方がおられたらぜひお願いします。

川上委員

行こうか。

三浦委員長

カメラマンは私が行く。感謝する。では予算は川上委員ではなくどなたか別の方をお願いしたい。

佐々木委員

やろうか。

三浦委員長

感謝する。対象者はどうしようか。

川上委員

3人がコラボできるかな。難しいか。

三浦委員長

これは候補なので、どなたかで。

川上委員

神楽でどうか。

野藤委員

私は田中さんがよいと思った。

村武副委員長

今まで男性だったので田中さんでもよいかと思いながら。しかし神楽をやっている高校生もよい。

笹田委員

取材しやすいほうが。甲乙つけがたいというか、どちらでも問題ないと思う。

三浦委員長

では、ちょうど田中さんが4月に就任されるので、ずっと男性が対象者だったということもあるし、田中さんでどうか。

(「はい」という声あり)

では関係人口をテーマに田中さんに打診してみる。

次、委員会活動レポート。これは産業と福祉の話もあった。

笹田委員

産業を担当する。

三浦委員長

お願いします。産業は笹田委員。

村武副委員長

福祉は私がやらせていただく。

三浦委員長

お願いします。そのほかに、所属している各委員会において、ぜひ発信したいと思う案件はあるか。中山間は申し入れをされてからは。

小寺書記

次のテーマに取り組んでいる。

三浦委員長

議会改革はどうか。

小川委員

政治倫理条例など。出すとしたらそれがある。

三浦委員長	意見陳述についてはこの間掲載したのだったか。
小寺書記	はい、検討中ということだったが、今回3月定例会議で試行的にやってみるところまで来ている。
三浦委員長	それを報告しないか。市民にもかかわるところでもある。議会運営委員会に出ておられるのは。芦谷委員、よろしいか。
芦谷委員	はい。
三浦委員長	お願いする。
村武副委員長	議会ニュースは。
三浦委員長	はまだ市民一日議会のことを載せるので事務局で作成する。ではこれでよいか。確認する。
	予算……佐々木委員、野藤委員、小川委員、澁谷委員
	市民対談……川上委員、三浦委員長（カメラ）
	委員会活動レポート……産業：笹田委員
	福祉：村武副委員長
	議運：芦谷委員
	後書き……野藤委員
	スケジュールについてそのほかにあるか。
	（ 「なし」という声あり ）

2. はまだ議会だよりminiについて

(1) 第3号掲載内容及び原稿担当

(2) その他

三浦委員長	小寺書記から説明をお願いします。
小寺書記	（ 以下、資料をもとに説明 ）
三浦委員長	委員会活動に限らないので、議会としての情報提供として載せたいものがあれば。3月1日発行なので今時分の内容で。分量も少ないので深くは書けないが。
川上委員	干し柿についてやりたい。
三浦委員長	では川上委員、お願いします。あと、行革の特別委員会の申し入れについて回答が来たので、それを載せたらどうかと思うのだが行革特別委員会の委員長いかがか。
澁谷委員	よい。
三浦委員長	記事の担当をお願いできるか。
小寺書記	7行掛ける11文字、2ブロックあたりで。

- 三浦委員長
小寺書記
三浦委員長
小寺書記
佐々木委員
三浦委員長
澁谷委員
佐々木委員
三浦委員長
小寺書記
澁谷委員
芦谷委員
小寺書記
芦谷委員
三浦委員長
- 願います。あと一つ。前は。
　　年の挨拶と産業についてだ。
　　議会改革の進捗はどうか。
　　議長なんでもメールについて本誌の裏面に載せる計画だったが削ることになったので、そのことなどがある。
　　これは違う話かもしれないが、今年、県内の市議会議長会の会長と、中国市議会議長会の会長と、特定第三種漁港協議会の会長を浜田市が担当している。その活動も議長がしっかりやっていると触れたらどうか。それぞれの会で浜田市発の要望も出しているので、県と国に提出することも併せて。
　　それをしっかり書いていただいても。足りないか。
　　足りないなら行革はカットでよい。
　　議長メールについては、今までもあったのだが、来てもどこにも発信していなかった。今回はあまり内容が大規模ではなかったら発信して、より透明化させようということになった。これを機に送ってもらえば。
　　澁谷委員からもご提案をいただいたのだが、そちらにしっかりボリュームを割いたほうがよいのではないかと。上部分を全部使っていただいて構わないので、議長団に書いていただこう。
　　会長市になるということと、議長なんでもメールについてというイメージか。
　　浜田市議会が代表として頑張っているとアピールできるよう。
　　議長日誌が、市議会を代表する総体だから。前言ったように連合自治会や、あまねく市全体に係るものについて少し紹介したほうが、あれだけやっているのかということがわかってよい。
　　議長は個人でなく、市議会総体の代表なのだから、そういうことは推してよい。
　　議長日誌は一つの項目について写真も入れて議長の意見も入れる書き方をしているが、芦谷委員からご提案があったのは、何月何日に何があって、という情報が続くようなイメージか。
　　大事なものを。
　　上段でしっかり書いていただき、日誌の部分は日々の活動についてなので、芦谷委員が言われることも一理ある。タイトルだが、市民と意見交換を日々行っているということで、保育連盟の方や自治

連合会の方と意見交換を持っているという感じでまとめてもよい。

ではminiはそのように進めていきたい。

そのほか、皆から何かあるか。

(「なし」という声あり)

3. はまだ市民一日議会について

(1) 預かり事項の確認

三浦委員長

小寺書記から報告をお願いする。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

まず預かり事項の検討のところ、こちらで少し整理させていただいたのだが、これに対してご意見があれば何う。

(「なし」という声あり)

ではそれをもとにチラシを修正している。これについてご意見はあるか。上限何名か。

小寺書記

10名。

三浦委員長

記載がないので書いておいたほうがよい。上限は10名として、応募者多数の場合は抽選によると。

村武副委員長

発言順は抽選が行われたときに一緒に決めるのか。

小寺書記

抽選をするのであれば、出た順番でもよいかと思う。10名以内なら受付順というのが今のイメージである。

佐々木委員

内容もある。そのときにしないと時期が遅いということもある。今でしかない話題を優先的にやってあげないと。

野藤委員

議員は発言テーマをSDGsで分けているが、ある程度振ったほうがよいのか。そういう恣意的なことはしないほうがよいのか。

三浦委員長

優先的に扱うテーマは、時期的なものもあるかもしれないが、出された方にとっては、自分のテーマのほうが重要だと思われるかもしれない、はかりにくいと個人的には思う。

佐々木委員

例えば統廃合の問題で、すぐ案が決まらねばならず、そのためにやりたい、今しかないといった場合。それは検討で、すぐするのか、真っ向から順番でやるのかは。

三浦委員長

確かに難しい。今のこのルールで、公平性の担保ということで抽選になると、どうしても落ちる可能性は出てくる。

佐々木委員

そういうのも難しい判断になるので、ルールを決めて抽選でいくのかどうか。10名以上出た場合にどうするか、公平性を担保するた

- めにどうするか。順番については判断しにくい部分があるので、その人たちは早く出してくれと言うしかない。
- 小寺書記 今では応募多数の場合は抽選としているが、先着10名というやり方をするか。
- 川上委員 先着ではなく抽選がよい。
- 小川委員 20名来たらその中から10名を抽選で決定すると。順番も抽選によって決めればよい。議会の一般質問と同じように。
- 三浦委員長 20名の中に仮に統廃合の問題などが出たときには。
- 小川委員 やはり抽選でやるのが公平だと思う。こちらの意思が入るのはよくない。時期を逃したら意味がなくなってしまうものもあると思うが、出された方はそれぞれが一番重要だと考える課題を持っておられると思うので、こちらが優先順位をつけるのは難しい。
- 佐々木委員 ほかにも伝え方はいろいろあるので、このルールでよい。
- 野藤委員 これはケーブルテレビに出るわけではないのだろう。Y o u T u b e で流すのか。
- 小寺書記 録画したものをY o u T u b e で流そうとは考えている。ケーブルテレビについて、報道投げ込みはしようとは思っているのですが、その絡みで来ていただければ。
- 野藤委員 ニュースとしては流れる可能性もあるが、我々が一般質問でやるような感じではないということか。
- 小寺書記 それはケーブルテレビがどのような取材をされるかによる。
- 西川副委員長 この間ケーブルテレビと打ち合わせをした際、チャンネルが増えたのでもしかしたら流してくれるかも、という感じだった。
- 村武副委員長 今まで出てなかったと思うが、例えば子どもが応募されてきた場合、保護者の承諾などは不要か。
- 三浦委員長 未成年のエントリーについてか。
- 村武副委員長 はい。あまりないとは思いますが。私は不要かと思うが、しかし保護者が後になって知らなかったというのはどうか。
- 三浦委員長 どう対応したらよいか。
- 小寺書記 申込用紙に氏名・住所を書くことになっているが、年齢も書いてもらうことにすれば、未成年かどうかわかった時点で確認が取れる。
- 野藤委員 年齢については決めてなかったか。
- 三浦委員長 年齢制限は決めていない。
- 小寺書記 犬山市の例だと小学生が応募されていたこともあるので、対応し

- てよいものだと思います、年齢制限はなしとしたのだが、応募のことを考えると、また考えるところもあるかと。
- 三浦委員長 例えば申し込みをされたときにそういうことを一応お尋ねするとか。許可を取るか取らないかは別によいかとは思いますが。仮に小学生がエントリーしてきたら、両親はこのことを知っているかと一応確認したほうがよいかもしれないが、それを条件にはしなくてよいかと思う。
- 野藤委員 人の名前をかたって応募するとかないだろうか。
- 三浦委員長 今の懸念点は確かにあると思う。年齢は書くようにしようか。
- 川上委員 中学生以上でよいではないか。
- 三浦委員長 そうすると犬山市のように小学生が応募できなくなるが。
- 川上委員 いたしい。中学生以下は確認しようか。
- 笹田委員 小学生かどうかはよいのだが、犬山市は母親が同伴していた。あれならまだしゃべれると思うが、急に檀上に上がると小学生はどうなるかわからない。保護者同伴で来てもらったほうが話しやすいのでは。中学生くらいなら十分しゃべれると思うが。
- 野藤委員 小学生だったら保護者同伴で来るように確認するくらいは、手間はかからない。そばにつくかどうかは別にして、来てもらってれば対応はできると思う。
- 三浦委員長 申し込みがあったときに対応するということか。
- 野藤委員 そう。
- 三浦委員長 ではそのようにしようと思う。内容についてはご了解いただいたということで。

(2) その他

- 三浦委員長 小寺書記から。
- 小寺書記 今、はまだ市民一日議会について前回の委員会での確認事項を決めていただいたので、今後の委員会で役割分担や周知方法などを詰めていきたい。よろしく願います。
- 三浦委員長 このチラシ案は、このような感じで作っているということを見てもらっておいたらよいということか。
- 小寺書記 はい。どちらがよいか。
- 野藤委員 吹き出しを、もう少し目立つものにしたほうがよい。
- 三浦委員長 ではやわらかい表現で、左の方向で。

芦谷委員
小寺書記
三浦委員長

日にちはこの日程なのか。
仮に入れているだけ。
ではチラシの制作は引き続き行っていく。
そのほかに何かあるか。よろしいか。
(「はい」という声あり)

4. 地域協議会との意見交換会について

(1) 意見確認

三浦委員長

先般、西川副委員長と五つの地域協議会を回って正副会長と話してきた。お手元に内容を掲載した資料を配信している。金城、三隅、旭、弥栄においてはおおむね了承をいただいた。おおむねというのは中身についてこうしたほうがよいのではというご意見もいただいたので、おおむね了承という形にしている。三隅自治区地域協議会の副会長からは、年に1回程度だと単にやったというだけで終わってしまうので、やるなら四半期に一度くらいの頻度で出向いてもらい、かつ、1年間は来る議員を固定してもらい積み上げ式にすれば議論もより深まるのではないかというご意見をいただいた。

あと同日開催だと時間がしっかり取れないので、別日でやったほうがよいという意見が大半だった。旭についてはいつも昼の時間からされるそうなので、その前後を伸ばすなど同日でも十分時間が取れるのではとおっしゃっていたが、しっかり時間を取ってやってほしいという意見が多かったように思う。

テーマを決めないということでのいたのだが、全く何もしないで会議に臨むと小さな要望が飛び交って議論にならないと思うので、当日までにテーマを設けたほうがよいという意見を複数からいただいている。

弥栄自治区地域協議会からは、意見交換後にどうなったかという継続的な関係性が議会とできるとよいという意見をいただいた。

浜田自治区地域協議会については、浜田自治区における地域協議会の構成といったところが要因かと思うが、こちらからの提案の形では実際に開催することはできるが本音が聞けないとか、浅い意見交換会になってしまい議会側が意図している目的は達成されにくいのではというご意見をいただいた。その解決案として例えば地域協議会という大きなくくりではなく、自治会単位くらいの細かい単位

で開いてほしいと。エリアが広いので地域ごとの課題がさまざまなので、ぜひ配慮してほしいと言われた。

副委員長から補足はあるか。

西川副委員長

もっと早くやってくればということも言われた。議員に話したいことは持っておられると思う。

三浦委員長

2月5日の全員協議会で、私から地域協議会との意見交換会について全議員で対応していきたいことを説明させていただいた。その際、布施議員、岡本議員、牛尾議員、柳楽議員からご意見をいただいた。

布施議員のご意見については浜田自治区地域協議会に伺った内容と通じる部分があったかと思う。岡本議員からの意見も、公民館を基準にしてということだったが、意見交換する対象を地域協議会ではなくもう少し細かい単位でやってはどうかという意見だった。牛尾議員の議会基本条例による議会報告会が今は中止になっているので、それをまずやってからではないかというご意見もあった。これは私の回答が不足していたのだが、コロナ対策の一環でワークショップ形式でやる議会報告会を取りやめて別の形で広聴機能をきちんと担保しなければいけないときにどういうやり方があるだろうかという、対策の延長線上に出てきた話でもあるので、こういったところで市民との意見交換の場を持ちたいと、きちんと説明しなければいけなかった。柳楽議員のテーマについてのご意見だが、これも地域協議会からいただいた意見と通じる部分だと思う。これらを踏まえて皆から今後どのように意見交換会を進めていくかご意見を頂戴したい。

澁谷委員

議会報告会や地域井戸端会が先だという話だったので、それなら全議員でやる必要ないかなと。この委員会の活動としてやっていけばそのようなことを言われることもない。地域井戸端会は工夫したが中止という判断があった。緊急事態宣言などで協議ができない中での判断で、いろいろ言われるなら委員会だけでやればよいと思った。変に全議員でやろうとするから気を使うことになる。

三浦委員長

ほかにはいかがか。

川上委員

テーマを設けるとするのは、各自治区の意向に合わせたい。

三浦委員長

テーマをこちらで設けないとしていたのを、各地域によって扱うテーマや関心事が時々で違うし地域性もあると思うので、特設設けていないとご説明したので、各地域協議会一律に同じテーマやスタ

イルでやることは、今のところ考えていないと前段でご説明した上で、各地で話したい内容を事前に調整させていただき、テーマを決めていく。それが全くなしでいくと收拾がつかない可能性もあるので、事前にテーマは各地域協議会と決める。

川上委員 全議員の考えとこの委員会の捉え方が若干違う。温度差があって難しいので、今回はここだけでやったらどうかという気持ちがある。ただ、弥栄であったように、持ち帰った後のアクションをどうするかは詰めておかないと。

野藤委員 この委員会だけでしたらよいという問題を超えている気もする。ここだけでやるのも腑に落ちない。そこをクリアできればよいが。

澁谷委員 そうすると地域井戸端会をした後でないということなので。秋まではできない。国が終息宣言を出すまでは。

野藤委員 地域井戸端会が先だという意見の方もいるが、それが全てではない。

澁谷委員 そちらの会派の意見だろう。ここで話したことを十分説明されている様子もない。会派の人間を説得できずにほかの議員を説得できないだろう。

野藤委員 説得したわけではない、説明はした。その中で出た意見が当日の全員協議会で出た意見だと思っている。この委員会でも全員協議会で皆に話してされたということなので、私から説明すれば納得するというものでもない。

三浦委員長 もう一つの資料をごらんいただきたい。これまでの議会報告会についての経過をまとめ直した。今はできない状況である議会報告会をどうするかということに視点を置きかえて考える必要もあるかと。例えば、感染症対策を行った上で対面での議会報告会を開催する。案2で、Zoomなどテレビ会議システムを使って議会報告会を試みる。案3、ワークショップ形式の開催、要は不特定多数の人が来て向かい合ってやる形が難しいので、引き続きやらずにほかの方法で対応する。私はつい立てがある中で模造紙やポストイットを使ってやってみたのだが、難しい。物理的に。だから今までと同じスタイルでやるのは難しい印象を持った。

それでは議会報告会はどうするのかを考えると、案1、2、3について協議の必要があるかと思ってお提示した。併せて考えていかないといけないかと思っている。

- 小川委員 たまたまこの間のマニフェスト研究所の研修を受けたが、コロナ禍がいつまで続くかわからない中、議会報告会もそれが理由で断念せざるを得ず、それにかわる方法とはと。あの中では本会議の採決場面以外はほとんどZ o o mでできるのではないかと試みた報告などもあった。こちらも、そろそろ終わるだろうという考えを片方で持ちながら、収束すればできるといってもかなり延びている。何か工夫し始めないとまずいのでは。できるだけZ o o mなどを使って、普段の委員会活動や議会活動で使える方向でもう少し検討を進めたほうがよいのでは。議会報告会は2年にわたり延び延びになっているが、それを何とかこれを使ってできないか、知恵を出してもよいと感じた。
- 野藤委員 この間まちづくりの説明会で浜田市のテレビ会議システムを使われたのだが、あれよりはZ o o mのほうがよいのではと思った。若い人が多いとは限らないので、Z o o mを使った議会報告会というのもよいのではと思った。やってみる価値はある。
- 村武委員 Z o o mを使った議会報告会はよいと思うが、高齢者の方たちがどの程度できるかが不安である。例えば公民館などでZ o o mの研修会を開くなど、進んでいるのであればよいが。若い方は入ってこられると思うが、高齢者のことを考えると一方では考えていく必要があるのではと感じる。
- 野藤委員 我々世代は、孫とZ o o mをするなど、思うほど遅れてないと思う。私は心配してない。
- 村武委員 私は入れない人もたくさんいらっしゃると思うが、若者でも経験のない方は案外おられる。そこは懸念するが一度やってみてもよいかなど。こういうことを一度やれば、もしかしたら公民館でZ o o m講座などが始まると、それはそれでよい。
- 芦谷委員 地域の実情や市民の声を議会として吸い上げることだと思う。地域協議会とはこの委員会でやってみる。そのかわりもう一度各委員会で市民団体との意見交換をするということ。あの辺は実際にはされてない。総務文教委員会では就学前教育の関係でヒアリングしたのだが、もっとあの辺を市民団体と意見交換すればよい。
- ただし、地域協議会が浜田と石見のように広域のところもあるし小さいところもある。位置づけがはっきりわかっていない。こちらもわからないし、執行部もわかっていないし、地域協議会の委員も

わかってないのでは。そのことを知るためにもこの委員会でやってみたらどうか。

笹田委員

議会報告会をZ o o mでやったらという意見が出たが、議会報告会自体が少ない中でZ o o mでやったとして、どのくらい的人数が集まるか疑問である。それよりは正副委員長が説明に行った地域協議会を見る限り、それぞれ思いは違っても望んでおられることはわかるので、望まれているところに率先していくことが順番ではないかと思う。議会基本条例に書いてあろうがどうだろうが、こういう状況で無理やり開催すべきではないと思う。安全安心のもとで開かれてしかるべきである。議員全体でやるのか委員会でやるのかは議論が必要だが、地域協議会全体のことは議員全体につながってくると思うので、将来的には全体でやるべきだと思うが、理解していただけない部分があるのであれば、委員会でやるのも可ではないか。

三浦委員長

ちなみに地域協議会との意見交換会を企画しているものは、議会報告会には分類されないのか。

笹田委員

意見交換会になるのでは。

澁谷委員

こだわらなければよいと思うのだが。各常任委員会で地域に出て話を聞くのと同じでは。

三浦委員長

議会報告会が先だと言われるので。たくさんの方が集まることは難しい中で、地域協議会という特定の方々が集まる場所に限られた議員が出向いて行って話をするというのは、中には議会のことをきちんと報告してほしいということもあったので、議会報告会にかわる位置づけにもできるのではと思うのだが、それは議会報告会ではないと言われれば、ではどこからが議会報告会なのか。

澁谷委員

今までのような議会報告会をやるのが先だろうとか言われるとややこしい。

野藤委員

恐らく不特定多数かそうでないかという意味だろうと認識した。地域協議会という特定の団体を相手にするなら議会報告会とは違うという認知なのだろうと私は理解している。

三浦委員長

それが難しいから何とか市民との対話の場を持つための代替案として出しているのだが。

近重係長

事務局から補足だが、そもそも議会報告会は基本条例に入っており、23条に「議会は、議会活動に関する情報を積極的に公開するとともに、市民の意見を把握し、議会活動に反映させるため、議会報

告会を開催するものとする。」ここが根底にある。不特定多数かどうかは関係ない。ここをもとに規程や要領が定まっている。

三浦委員長

そう解釈している。

小川委員

広い意味では含まれるのではないかと。

三浦委員長

はい。

澁谷委員

今を読むと、目的ははっきりしているわけだから、手段は問わないような条例になっている。

野藤委員

私は議会報告会のくくりだろうと思うのだが、牛尾議員がそのように思って、従来の形にこだわられたのだろうと思う。

三浦委員長

牛尾さんが言われることもわかるのだが、今までの経緯を改めて説明しながら、手段として対策もきちんと取れてできるだけやれるような方法を考えて、こういう形にたどり着いた。併せてZoomを使って、こちらから、コミュニケーションとしては一方向になりがちになるかもしれないが、議会としてはこういうことをやっているというチャンネルをつくってもよいかと思う。それも議会報告会だと思う。オンライン環境を整えることは別の形で考えたらよい。

複数の委員から、この委員会で対応してはどうかというご意見もいただいた。それも一つの手段ではあると思う。ただ、広聴機能はこの委員会だけが担うことではないと思う。議会全体として広聴機能を高めていくために申し入れもして、全体として行っていく中でどういう広聴手段、あるいは広報手段をやっていくのがよいかを考えるのがこの委員会の役割だと思っている。市民との対話という貴重な場に我々だけが出ていくというのは、議会全体としての広聴機能を充実させていきたいというところには足りない部分を感じてしまう。難しい部分を何とか踏み越えて、議会全体として、議会報告会として何とか持っていきたいと個人的には思っている。

佐々木委員

確かに牛尾議員の言われていることもよくわかるが、そもそも議長からは、こういう状況では開催できないのでかわりの手法を考えてもらいたいということを出した結論である。つまりこれまでの手法はできない前提で考えているので、それをまたやってくれというのは無理があるだろうと思う。議会報告会をやっても結構地域協議会のメンバーが中心で来られているので、相手のがらっと変わるわけではない。できれば議長の力をかりて全員で取り組むのがよいのでは。

地域協議会も、浜田は少し難しいことは想定できたのだが、三隅が熱心にされているので、そこに我々が入って四半期に一度となると、一緒になって地域を盛り上げるように捉えられる可能性もある。本来そうすればよいのだろうが、そこまで入ることはできないので整理して、テーマによっては半年に1回ということもあるかもしれないが、基本的には年に1回やらせてもらって、我々も一緒にまちづくりしたいが、聞く中で議員としてできることをやっていくという指針も改めて必要かと思った。

議長のをかりて基本的に全員でやったほうがよい。

小川委員

議会報告会が先だという意見があることは事実だとすれば、それなら全体でやるのはやめて広報広聴だけでやればよいという議論もあるのだが、委員会活動は全体の合意形成というか。きちんと経緯を説明して理解していただければ問題ない。各常任委員長にも広報広聴機能を高めるように要請もしてきた。24人全員で取り組めるようにするためにどうするか、共通認識を持たせることもこの委員会の機能に含まれている気がする。反対意見があるから簡単に、ではこうしようというのではなく、反対意見の方にも理解できる形で余裕を持って進めるべきではないか。

笹田委員

議長も、議会報告会をしてほしいと言われている。その時点で報告会だと言えれば報告会だと思う。重要案件の意見交換会とまでは言わないが、意見交換もできるし議会の報告もできるなら、この委員会として報告も兼ねているのだという意味では報告会として位置づけることはできると思うので、それを説明さえすれば全体でできるのでは。

野藤委員

この報告書の中でも全員協議会の意見が書いてあるのを見ると、別に反対しているわけではない。委員会だけであるという短絡的にしないほうがよい。

澁谷委員

短絡的と言われる意味がよくわからない。各常任委員会でいろいろな団体とやっていってよい。それがたまたまうちは地域協議会で、コロナ禍で議会報告会ができなかったからそれも踏まえてやろうという話だったのだから、全員でやる必要ない。委員会で十分である。福祉環境委員会は保育園とやるかもしれないし、障がい者施設でやるかもしれない。そのように意見聴取すればよい。全員にこだわる必要あるのか。今まで地域協議会とどこの委員会も意見交換をして

ないのがおかしい。取っかかりを議会広報広聴委員会がやって何が悪いのか全くわからない。産業建設委員会も農業問題について金城と弥栄に出向いて地域協議会と最初やったのだが、青年団ともやってくれと言われて広がっていくとか。そうあるべきであって、なぜ全体にこだわるのか。

野藤委員

短絡的という言葉が悪かった。議会報告会がコロナでできないことを受けての案である。議会全体で取り組むことが前提かと思ったので、皆とやるべきではないかと。そして別に反対しているわけではないと言った。こういう意見が出るなら委員会だけでやればよいという問題でもない。やはり議論して、やるなら全体で取り組んだほうがよいのでは。

小川委員

最初の委員長からの提案が、全体でやるというものだったので、それに対して「それをやるならこちらが先ではないか」と言われたので、それならこちらだけでやろうという意味で言わせてもらっただけである。別に議会広報広聴委員会としてのいろいろな活動を否定するものではないし、地域協議会との意見交換を全体でやっていこうという提案で進んでいた関係から、それを進めるべきではないかという意味である。

芦谷委員

議会報告会の参加が難儀している。議会基本条例にあるから必ずしもしないといけないというのはもちろんあるのだが、場合によっては議会基本条例の議会報告会のあり方を少し見直してもよいかもしれない。小さい単位で機動的にやってみて、全議員に説明するなど。入口で考えても動けない。この委員会でやってみればよい。

村武委員

そもそもこの議会広報広聴委員会の役割が何なのかなと思いつながら話を聞いていた。私の中では例えば広聴を広げるためにどういうことをやっていけばよいのかを考えるのがこの委員会だと思っている。そうなると地域協議会との意見交換会もここで考えてはいくが、全議員で取り組んでいくものかと思う。そうではなく、この委員会だけで地域協議会との意見交換をしていくのがこの委員会の役割であればそれはそれでよいが、ここだけで地域協議会と意見交換をしたところで、出てきた課題や問題をその後どうするのか、私の中で理解できてない。

三浦委員長

例えばこの委員会が地域協議会に出向いて行って、議題として市民との対話の場をどうやって持っていくかという議題について議論

するなら、この委員会でやる意味はすごくあると思う。

それが例えば弥栄のふるさと体験村について議論したいとなったときに、広報広聴委員会として行くよりはもちろん産業建設委員会として行ったほうが、僕は実りある議論ができると思う。

だからどちらかという市民の対話の場を広く持つことを目的に考えていったのがスタートラインなので、できるだけ全議員で対応したいというのが頭にはあった。今、皆の話を伺いながら改めて、そういう場さえどうやって持ったらよいか議論する、人数も少なくなっている現状に、議会としても大事に思っているから議会報告会や地域井戸端会に住民に出してもらうにはどうしたらよいか。やり方も含めて協議するのは、ありかと思った。ただそれを地域協議会の皆をお呼びしてやるのは少しヘビーかと。どういう方々とやるのがよいかは考える必要があるが、地域に問いかけながら一緒にそういう場を議会としてつくっていくのはプロセスとしてありかと思う。この議論は一度整理してから、もう一度投げさせていただきたい。

西川副委員長

皆が言われることはそれぞれごもっともだと思う。コロナ禍で立ちどまっている場合ではないので、できることを進めていくべき。できれば議会全体で地域協議会の話を知りたい。実際に回ってみて、地元議員が出席したほうがよいかを聞いたら、地元議員はいつでも話ができるから、ほかの地域のいろいろな議員に来てもらって話を聞いてほしいとおっしゃっている。できるだけ広いメンバーを出したい。

三浦委員長

今日皆にいただいた意見をまとめて、また少し協議を。議会報告会の実施と地域協議会との意見交換会の実施と、例えばZ o o mなどを使った別の議会報告会の実施もあると思うので、複合的に考えていったほうがよいと思う。皆にお諮りしながら進めていきたい。

西川副委員長

とはいえ地域協議会にまたお話をしに行かないといけない。

三浦委員長

それは今ここで協議できないので、報告に行けない。議会内での調整がもう少し必要だという残念なお知らせになってしまうが、いただいた意見を踏まえて議会報告会の整理をして、年度は変わってしまうが早いところでまた引き続き。

来年度で始動できればよいのだが。そういう形のほうがよい。

西川副委員長

一応、明日、明後日に持っていく話を資料を出して。

野藤委員

これはもう実施する方向で話を持っていていいのか。

三浦委員長

一番右の開催予定というのは今年度中に、来年度こういうことをやっていきたいのでよろしくという頭出しの挨拶を、こちらの委員会から改めて行かせていただきたいので、今年度中にいつ協議会が開かれるかと伺ったら、この日程だった。

野藤委員

実際に意見交換できるのは来年度だと向こうは思っておられる。まだ議会内部で調整中で、日程や形も含めて調整中ということでは。

澁谷委員

正副委員長のメンツが保てればよいが。

笹田委員

もうやる方向で行っているのだからその説明だけして、あとは全体でいくのか委員会でいくのかの協議だけで押さえてもらって。今度の全員協議会で今日話したところを再度聞いて、これを委員会として考えていると言って、それでもしだめだったら委員会でやるしかないし、幾らそこを議論してもだめなので。皆がきれいにやるためには再度説明して、オッケーが出れば全体でやる、だめだったら委員会でやると腹をくくらないと時間がない。

三浦委員長

了解した。では一応その説明をしに行って、どういう形かはまた詰めさせていただくが、地域協議会、地域との意見交換の場を持つことを企画していることをお伝えしに行く。

冒頭に申し上げたとおり、各議員からの質問に対する私の答弁も不十分なところがあったと思う。ここには各委員会から出ているが、会派の方々には、こういう意図と背景でこうなっていることを理解いただくよう、ぜひ皆からも促していただけるように再度ご協力をお願いしたい。

明日からまた我々のほうで地域協議会へ行ってくる。

(「よろしく願います。」という声あり)

5. その他

三浦委員長

そのほかにあるか。

小寺書記

皆からなければ次回の委員会について。4月1日がそうではあるのだが、それだと議会日よりminiの4月1日発行のものだったり、はまだ市民一日議会のことだったり、今日の地域協議会との意見交換会のことをやるには先過ぎるので、できれば3月に1回委員会をしたい。一応3月17日に3月定例会議が終わるので、その後なるべく早く、18日から23日までの間にできればよいと思っているのだが、皆

小寺書記 | のご都合はいかがか。
 | 《 以下、日程調整 》
 | では3月18日（木）の午前10時から、第4委員会室でよろしくお願
三浦委員長 | いする。
 | 休憩も挟まず申しわけない。以上で委員会を終わりにする。

[15時 27分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀